



平成 29 年度 庄原市教育フォーラム



庄原市では、「庄原で学んでよかったと心から思える教育」をめざし、子供たちが、ふるさと庄原で培った「知・徳・体」を原動力として、激しく変動する社会を生き抜き、活躍できるよう取り組んでいます。

本年度は、「家庭教育」をテーマに、学校、家庭、地域が一緒になって子供たちを育てていく土壌をつくり、これからの教育について考えていきます。

平成 29 年 10 月 22 日（日） 庄原市教育委員会

【日程】

13:20～13:30 開会行事

挨拶 庄原市教育委員会 教育長 牧原 明人

13:30～13:50 小学生による学習発表

「守ろう！伝えよう！総領の宝『節分草』」 庄原市立総領小学校 全校児童

13:50～14:40 中学生による意見発表

「家庭・家族について」 市内各中学校から 1 名 計 7 名

庄原市立庄原中学校 第 3 学年 矢谷 雅輝 高野中学校 第 3 学年 峠 翔太

西城中学校 第 3 学年 西野 薫 比和中学校 第 3 学年 松木 遥奈

東城中学校 第 3 学年 瀬尾 梨々花 総領中学校 第 3 学年 紙谷 アンジェロ

口和中学校 第 3 学年 小滝 翔太

14:40～14:50 休憩



14:50～16:00 講演

「生きる力を育む ～がばいばあちゃんからの教え～」 島田 洋七

16:00～16:10 閉会行事

挨拶 庄原市PTA連合会 会長 日傳 雅晴

【 小学生による学習発表 】

「守ろう！伝えよう！総領の宝『節分草』」

庄原市立総領小学校 全校児童



皆さんは、「節分草」という花を知っていますか。「節分草」は、広島県の準絶滅危惧種であり、庄原市の天然記念物に指定されている珍しい花です。旧暦の節分のころに咲くことから「節分草」という名がつけられました。

総領町では、19年前、地元の有志6人によって「節分草保存会」が作られ、現在も節分草を守りながら、「花を華にかえる」を合言葉に町の活性化に取り組んでおられます。

総領小学校では、16年前から、毎年4年生が総合的な学習の時間に「節分草」について学習しています。「節分草保存会」の方の指導を受けながら、「節分草ボランティアガイド」も行っています。

本日は、その学びをもとに、「なぜ、節分草は総領に残っているのか。」「節分草は、総領町にとってどのような花なのか。」「地域の人々は節分草をどのように守ってこられたのか。」「節分草という『花』を『華』にかえるために、どのような思いや努力があったのか。」「小学生である自分達は、総領地域の一員として何ができるのか。」ということを劇や歌で発表します。



節分草（春告げる花）

作詞 和田 芳治 作曲 竹川 尚子

- 1 北向きの 山すそに 光集めて 小さな花
雪の日も ほほえんで 風の中でも ほほえんで
君が好きだよ 春告げる 君が好きだよ春告げる
- 2 草を刈る 人のいて 今年も 咲いたよ 小さな花
花を華に 夢をつむ 花を華に 汗をつむ
君が好きだよ 春告げる 君が好きだよ春告げる

【 中学生による意見発表 】

「家庭・家族について」

市内各中学校から1名 計7名



〔発表者〕

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1 「二つの国の家族とともに」 | 紙谷 アンジェロ (総領中学校 第3学年) |
| 2 「私と家族」 | 瀬尾 梨々花 (東城中学校 第3学年) |
| 3 「一致団結」 | 小滝 翔太 (口和中学校 第3学年) |
| 4 「『親を敬う』できていますか」 | 西野 薫 (西城中学校 第3学年) |
| 5 「大切な二つの家族」 | 松木 遥奈 (比和中学校 第3学年) |
| 6 「二人の優しさの間で」 | 矢谷 雅輝 (庄原中学校 第3学年) |
| 7 「家族の支えに感謝して」 | 峠 翔太 (高野中学校 第3学年) |

【 講演 】

演題 「生きる力を育む ～がばいばあちゃんからの教え～」 島田 洋七 氏

〔島田 洋七 氏 プロフィール〕

〔生年月日〕 昭和25年2月10日

〔出身地〕 広島県広島市&佐賀

〔紹介〕

漫才コンビB&Bとして、漫才ブームの先駆者となる。

NHK漫才コンテスト、上方漫才大賞、読売テレビ・上方お笑い大賞など、数々の賞を受賞し、『もみじまんじゅう』のギャグは一世を風靡する。

現在は、タレントとしての活動の傍ら、講演、執筆活動にも精力的に取り組んでいる。自分の人生論や経験、おばあちゃんとの生活などをもとに語る講演会は開催4000箇所を超え、笑いあり涙あり、お年寄りから子供まで楽しめると好評である。

著書「佐賀のがばいばあちゃん」はシリーズ670万部を超え、国内のみならず、韓国版、台湾版など世界各国に広がりを見せている。

また、「島田洋七の佐賀のがばいばあちゃん」で映画監督デビューも果たしている。

